

プレスリリース

2025.10.29

## VST 3: MIT ライセンスへの移行

VST 3.8 SDK のリリースに伴い、Steinberg は VST を MIT オープンソースライセンスへと移行しました。

ドイツ、ハンブルク — Steinberg は業界をリードする Virtual Studio Technology (VST) プラグインフレームワークの次世代バージョン、VST 3.8 の公開をアナウンスしました。このバージョンから MIT オープンソースライセンスモデルを採用し、またいくつかの改良を Software Developer Kit (SDK) に盛り込んでいます。

Steinberg が開発した VST は、デジタル音楽制作に革命をもたらした、業界標準のオーディオプラグインフォーマットです。1990 年代半ばに誕生した VST はバーチャルインストゥルメント、エフェクト、そしてオーディオ処理ツールを Digital Audio Workstation (DAW) にシームレスに統合し、サードパーティプラグインを通じてクリエイターたちの制作環境を拡大しました。第 3 世代においても VST は業界の指標であり続け、世界中の音楽制作およびポストプロダクション業界に、高いパフォーマンス、柔軟性、そして自由な創造性をもたらしています。

VST 3.8 での MIT オープンライセンスへの移行は、よりオープンでフレキシブルなフレームワークを求めるサードパーティデベロッパーからの長年の要望に応えたものです。MIT ライセンスに適応したことで、Steinberg は統合の障壁を取り除き、開発ワークフローを容易にし、また世界中のオーディオテクノロジーコミュニティとの協業を強化します。

### **Yvan Grabit (Steinberg: Technical Lead)**

“VST 3.8 は待望のリリースです。私たちはこの新しいライセンスモデルの提示によって、デベロッパーが VST オーディオプラグインにさらに簡単にアクセスでき、さまざまなプラットフォームやアプリケーションに VST を実装できるよう推進します。”

VST 3.8 SDK の MIT ライセンスは、オリジナルの著作権表示とライセンス許諾表示が保持される限り、ソフトウェアの自由な利用、修正、ならびに配布を許可します。これにより、著作権を適切に明示しつつ、商用および非商用のソフトウェア製品での VST テクノロジーの使用に許諾を与えます。

VST 3.8 ではこのほか、MIDI 2.0 対応の向上をもたらすインターフェースの変更、および VSTGUI へのアップデートなどの改良を含みます。

今月上旬、Steinberg は ASIO テクノロジーのライセンスモデルを更新し、よりオープンでデベロッパーにとって扱いやすいアプローチを提示しました。この ASIO SDK は GPLv3 ライセンスで提供され、プロプライエタリとオープンソースのライセンスの両方を提示するものです。

#### **配布方法**

VST 3.8.0 SDK は Steinberg Developer Portal (英語) から提供します。

[www.steinberg.net/developers/vstsdk/](http://www.steinberg.net/developers/vstsdk/)

#### **Press contact**

Stefan Trowbridge

Public Relations Manager

Steinberg Media Technologies GmbH

E-mail: [press@steinberg.net](mailto:press@steinberg.net)

Phone: +49 40 210 35 0

#### **Steinberg Media Technologies GmbH について**

Steinberg は音楽制作およびオーディオソフトウェアのソリューションで世界的に知られ、1984 年以来、ミュージシャンや音楽プロデューサー、映画、ポストプロダクション、マルチメディア業界のための革新的な製品開発および販売を続けています。Steinberg 製品はグラミー賞やオスカー賞に輝くコンポーザーやエンジニア、プロデューサーに広く使用されています。詳しい情報は [www.steinberg.net](http://www.steinberg.net) をご覧ください。

これらに記載されたすべての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。